

- 1 社会保障の四つの柱のうち、最低限度の生活を保障するものを何という？

- 2 日本国憲法第25条で保障されている、すべての国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を何という？

- 3 地域における健康相談や、感染症予防、保健指導などを行う行政機関を何という？

- 4 政府が調整を行うことで、企業の投資意欲や国の財政維持に影響を与える、企業に対して課される税の割合を何という？

- 5 介護保険の財源は、利用者の負担と保険料のほかに、国や自治体からの何によって賄われているか？

- 6 国の税収などが不足する際に、国が発行して資金を調達する証書を何という？

- 7 政府が作成した予算案を審議し、最終的に議決する機関を何という？

- 8 生活必需品などの消費税率を低く抑えることで、所得の低い人の負担を減らそうとする制度を何という？

- 9 国に納められ、国の財源として使われる税金を、地方税に対して何という？

- 10 国に納める税金と、地方公共団体に納める税金の二つに分けられるうち、国に納める税金を何という？

- 11 日本国憲法第25条において、国は国民が健康で文化的な生活を営む権利を保障する責任を負っている。この権利を何という？

- 12 国の歳出のうち、過去の借金の返済や利子の支払いのためにあてられるお金を何という？

- 13 所得が高いほど税率が高くなるように設定されており、税金によって所得の格差を縮小する役割を担っている制度を何という？

- 14 日本国憲法第30条において、国民が法律の定めるところにより負うこととされている、税金を納める義務を何という？

- 15 納税者と税を負担する人が同一であり、個人の収入に応じて直接課される税を何という？

- 16 企業が経済活動で得た利益に対して課される税金を何という？

- 17 財政の機能として、高所得者から集めた税を低所得者の支援に回すことで、所得の格差を縮小させるはたらきを何という？

- 18 国民年金などの社会保障の理念の根拠となっており、日本国憲法第25条が定める「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を何という？

- 19 日本の社会保障制度は、社会保険、公的扶助、社会福祉、あともう一つは何によって構成されているか？

- 20 国の1年間の収入と支出の見積もりのことを何という？

